

CITIZEN

電波時計 取扱説明書 (デジタル掛/置兼用時計)

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信してカレンダーと時刻を自動修正
- 明るい所ではソーラー発電を併用して電池寿命を長寿命化
- 温度・湿度表示

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造元 リズム時計工業株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無償保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有償での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

お買い上げ販売店でこのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

This product is intended for the Japanese market.

Service and technical support for this product are available only within Japan.

(Y1401)

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

必ず守ってください。

図記号の説明

⊘は、禁止（してはいけないこと）を示しています。

ⓘは、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

❗ 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届かぬ所に置かない
必ず守る 万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

⊘ 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことを守る
禁止

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池に充電をしない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

⊘ 電池から漏れた液に触れない

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

●電池を取り外して、漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

注意

傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

❗ 電池の⊕⊖を正しく入れる
必ず守る 逆向きに入れると液漏れや発熱の原因となります。

⊘ 強い振動や衝撃を与えない
禁止 故障や破損の原因になります。

⊘ 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
禁止 さびの発生や故障の原因になります。

⊘ めれた手で触らない
禁止 故障や誤作動の原因になります。

⊘ 分解や改造をしない
分解禁止 けがや故障の原因になります。

⊘ 下記のような場所では使わない
禁止 品質や精度の低下、部材の変形、劣化、故障の原因になります。
●直射日光が当たる所。
●温風ヒーターなど乾燥した風が当たる所。
●温度が+50℃以上の所。
●温度が-10℃以下の所。
●ほこりが多く発生する所。
●強い磁気が発生させる機器のそば。
●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
●プール、温泉場などガスの発生する所。
●調理場など多くの油を使用する所。
●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

時計、電池の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 電池と時計を分別して廃棄してください。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、表示が欠けたりして正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットを押してください。

おもな製品仕様

時間精度	電波の受信に成功した受信直後	表示精度	±1秒
	電波を受信しない場合	平均月差	±30秒（温度が5～35℃のときのクォーツ精度）
使用温度範囲	-10～+50℃	液晶表示可能温度範囲	0～40℃ *結露しないこと
使用電池	コイン形リチウム電池 CR2477	2個、ソーラー発電	併用
ソーラーセル	薄膜太陽電池		
電池寿命	コイン形リチウム電池のみで約5年	ソーラー発電との併用で6年以上	(200ルクスで8時間/日 発電)
標準電波	標準電波受信による時刻修正		
受信局	福島局/九州局自動選択		
受信回数	自動受信回数	2～3回/日	
	通常はAM2:16:40とPM2:16:40に受信開始。受信できないときは、AM3:16:40にも受信を行う		
受信 ON/OFF	あり		
表示方式	LCD(液晶)		
時刻表示形式	12時間/24時間切り替え		
表示切替	時刻/日付位置切り替え可能		
カレンダー	西暦2008～2099年対応		
温度表示	-9.9～+50℃	温度精度	±2℃
湿度表示	20～95%RH	湿度精度	±10%RH(温度が5～50℃のとき) *%RHは相対湿度を表しています
防塵・防滴機能	なし		

- ソーラーセルは室内用です。直接太陽光などの強い光を受けると性能が低下します。
- 液晶表示は5年を超えると表示が薄くなる場合があります。
- 液晶は0℃以下では表示が薄くなったり、反応が遅くなったりすることがあります。また、40℃以上では表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。
- 製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品

コイン形リチウム電池 2個（時計本体に組み込み済み）

木ねじ 1個 取扱説明書 本書 保証書 1枚

お問い合わせ先 **お客様相談室 0120-557-005**
(フリーダイヤル)
受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

お問い合わせに際しては、製品番号(型番)「RZ110」をお伝えください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。
本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。
当社はCITIZENブランドライセンス商品の掛時計、置時計、めざまし時計、温度湿度計、ストップウォッチを企画・製造・販売しています。

電池のご注意（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス（+）、マイナス（-）を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手が届かない所に置く。

電池の種類について

- 指定のコイン形リチウム電池をご使用ください。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れてありますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

電源について……………ソーラー発電とリチウム電池

この時計は、明るい所ではソーラー発電で、暗い所ではリチウム電池で駆動します。ソーラー発電とリチウム電池を併用することにより、電池寿命を6年以上(注)と長寿命化を図っています。

(注)1日に200ルクスの明るさで約8時間ソーラー発電する必要があります。

- ソーラー発電しても、リチウム電池への充電は行ないません。
- ソーラー発電のみでは動きません。必ずリチウム電池を入れて使用してください。
- ソーラーセルに直射日光を当てるとソーラーセルが劣化し、発電効率が低下します。
- 表示が薄くなったり、暗い所で停止するときは電池の交換が必要です。

電波時計について

電波時計とは

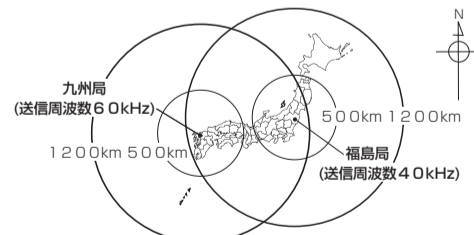
クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な日時に修正する時計です。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害（太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼/夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。

*標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://ijy.nict.go.jp)



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

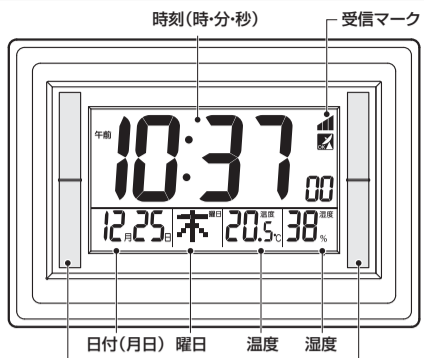
海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。海外でご使用になるときは、電波受信スイッチをOFFにして手動で日時を合わせてお使いください。

1 電波を受信して時刻を合わせる

※図は操作説明用ですので実際のものとは異なることがあります。

液晶の特性として、見る角度によって、見えにくくなったり、ムラに見えることがあります。

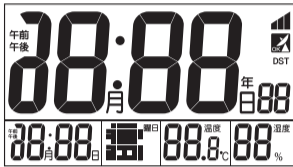


ソーラーセル
光が当たると発電します。影になったり、表面が汚れたりすると発電効率が悪くなります。

【参考】
照度環境の目安
150ルクス 一般的なリビング
300ルクス 明るいリビング内・オフィス
700ルクス 明るいオフィス
⑤寝室や窓のない所では、十分な明るさや受光時間が不足することがあります。

【受信の流れと表示】

〈リセットボタンを押した直後〉

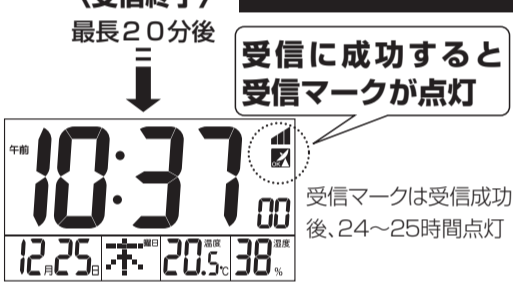


受信マーク (受信中点滅)
〈受信開始〉



※電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、2008年1月1日、午前12:00に設定されます。

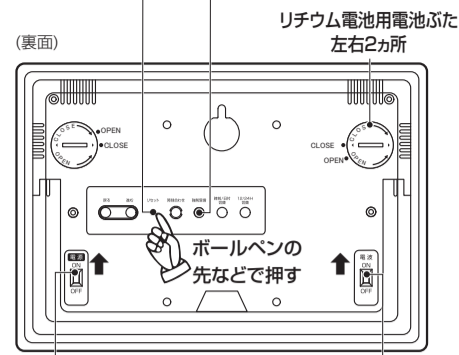
〈受信終了〉
最長20分後



(受信に成功したときの表示例)

※受信に成功しても、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。このような場合は、リセットボタンを押して、再度受信を試みてください。

3 リセットボタン 強制受信ボタン



1 電源スイッチ 2 電波受信スイッチ

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、**手動での時刻合わせ**をお読みください。

明るく電波の受信しやすい窓際などでご使用ください。

- 電源スイッチをONにする
○液晶表示が点灯しないことがありますが、リセットボタンを押すと点灯します。
- 電波受信スイッチをONにする
- リセットボタンを押すと受信マークが点滅し受信を開始します
- 受信結果を確認する
受信は最長で約20分を行います。
受信マークで受信結果を確認してください。
⑤【受信の流れと表示】参照
○受信中はボタンやスイッチに触れないでください。

受信マークの変化
電波の状態により変化します。(電波サーチ機能)
受信できない 受信しやすい



チェック!

1~2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットボタンを押し、再度受信を開始させてください。

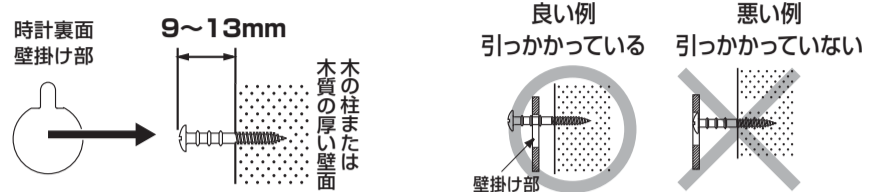
2 時計の設置

掛ける **注意** 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

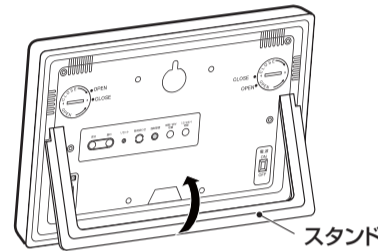
- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



その他の壁面の場合

- 石膏ボードやコンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

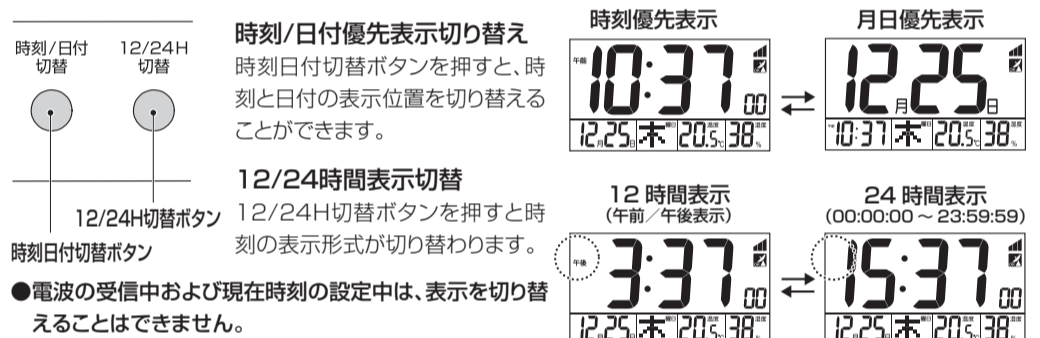
置く 置時計としてご使用になるときは、スタンドを図のようにしてください。無理な荷重を加えるとスタンドが外れたり、破損することがあります。



※水平で振動などが少ない安定した所に設置してください。

掛けて使用するときにはスタンドをきっちり収納してください。

3 表示の切り替え



4 リチウム電池の交換

暗くなると表示が薄くなったり、消えてしまう場合は、コイン電池の交換が必要です。

- 2つのリチウム電池を交換してください。
- ①電池ぶたの▲印を●OPEN位置に回して取り外す。
- ②リチウム電池の+表示がある面を上にして入れる。
- ③電池ぶたの▲印を●OPENから●CLOSEに回して取り付ける。
- ④リセットボタンを押してください。

電池ぶたを回すときはコインなどを使用してください。

電池切れの状態では電池からの液漏れにより、故障や家具、壁面などを汚す原因になります。電池切れになった電池は取り出してください。

Ⓐ 電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF (無効にして手動で時刻を合わせる) 受信機能 ON (有効にして受信を開始する)
電波受信スイッチをOFFにしてください。 電波受信スイッチをONにして、リセットボタンを押してください。受信を開始します。
○カレンダーおよび時刻は手動で合わせてください。 ○標準電波を定期的に受信して標準時刻に合わせます。

Ⓑ 強制受信とリセット操作

強制受信ボタン 場所を移動したときなど電波の受信を試みたいときに使います。受信に失敗しても継続して時刻を表示します。
リセットボタン 電源スイッチをONにした直後やコイン電池を交換した後、静電気などにより誤作動したときに押します。リセット直後は、2008年1月1日午前12:00に初期化されます。電波受信スイッチがONのときは受信を開始します。
○手動で時刻合わせをしているときは機能しません。
●電波受信スイッチがOFFのときは、強制受信ボタンまたはリセットボタンを押しても受信を開始しません。

Ⓒ 温度と湿度表示

センサーが時計内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。
測定範囲を超えたときの表示とその意味
温度「HH.H」50℃より高温 「LL.L」-9.9℃より低温
湿度「HH」95%を超えている 「LL」20%未満 「--」測定不能(温度が5~50℃の範囲外)
●設置場所について
直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。
屋外、温室、サウナ、プール、温泉、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。
●温度・湿度は設置場所により変わります
湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しの良い所と悪い所では違いがでできます。また、室温湿度は、設置する高さによっても影響を受けます。
⑤本製品を温度や湿度の証明や商取引に使用することはできません。また、厳密な温度・湿度管理を行う用途には適していません。

Q&A

Q. なぜ電源スイッチがついているのか?
リチウム電池が消費しないようにするためです。時計を使用しないときは、電源スイッチをOFFにしてください。

電波を受信できない場合

- 朝までそのままにしておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておく受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える/受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考に送信所になるべく時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

受信できない場合は、下記の操作でご使用になれます。

手動での時刻合わせ

- (1)時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押し続けます。
- (2)西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定します。
●進むまたは戻るボタンを押して数値を合わせます。押してすぐ離すと1つ単位に進むまたは戻ります。押し続けると早送りまたは早戻しになります。
●時刻合わせボタンを押すと、次のステップに移ります。
※電波受信スイッチがONの場合、手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると自動的に時刻を修正します。

⑤ Ⓐ 電波受信機能のON/OFF操作 参照

※約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている時刻に設定して、手動時刻合わせを終了します。
※電波を受信できない場合の時間精度は平均月差±30秒になります。

- 時刻表示は12/24時間形式がありますので、時刻を合わせるときに注意してください。
- 電波の受信中に時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信を中止して時刻合わせ状態になります。

電波を受信しにくい環境

- 次のような場所では受信できない場合や誤った日時を表示することがあります。
- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
 - 金属製の雨戸やブラインドの近く
 - ビルの中、ビルの谷間、地下
 - 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
 - 朝夕の時間帯、雨天のとき
 - 家電製品やOA機器の近く
 - スチール机等の金属製家具の上や近く

操作例. 2014年12月25日 午前10:37に合わせる

